

科目名		高年齢労働者社会医学特論	
科目責任者		財津 将嘉 (高年齢労働者産業保健研究センター 教授)	
開講時期： 1年次後期		単位数： 4 単位	時間数： 90分× 30 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 高年齢労働者に係る産業保健施策の目的、諸概念、活動の現状や広がり、課題を理解し、それを実務に活かせる応用力、疫学研究に必要な能力及び科学者としてのアカデミックな能力を修得する。リーダーとして、科学的根拠と現場の顕在的・潜在的ニーズ及び対応を踏まえた高年齢労働者への必要な対策を計画し、実践する力を身につける。 行動目標 (SBOs) 1) 高年齢労働者に係る産業保健施策の歴史を知り、それをもとにその現状と課題をとらえることができる。 2) 高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況を理解する。 3) 高年齢労働者に係る労働災害発生状況や労災認定の現状を理解する。 4) 高年齢労働者に係る産業保健を含めた労働災害防止対策(国の制度)について理解する。 5) 高年齢労働者の関連領域(学問)について、その概要を理解する。 6) 職場の現状を踏まえた高年齢労働者への必要な対策に関する計画立案の仕方を説明できる。 7) 疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その1)を理解する。 8) 疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その2)を理解する。 9) 疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その3)を理解する。 10) 疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その4)を理解する。 11) 疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その5)を理解する。 12) 疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その6)を理解する。			
● 評価方法		討議への参加度50%、発表内容と課題レポート50%で総合評価する。	
● 参考文献		「高齢社会白書」(内閣府)、「イラストで見る 高年齢労働者の安全対策 エイジフレンドリーな職場のために」(労働調査会)、「Modern Epidemiology, 4th ed.」(Wolters Kluwer)	

● 授業スケジュール

回	項目	内容	担当教員
1・2	高年齢労働者に係る産業保健と社会医学施策の歴史	高年齢労働者に係る産業保健施策の歴史を理解する。	財津
3・4	高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況	高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況について理解する。	財津
5・6	高年齢労働者に係る労働災害発生状況や労災認定の現状	高年齢労働者に係る労働災害発生状況や労災認定の現状を理解する。	財津
7・8	高年齢労働者の関連領域	高年齢労働者を含むと社会医学関連領域(学問)について、その概要を理解する。	財津
9・10	高年齢労働者に係る労働災害防止対策1	高年齢労働者に係る産業保健を含めた労働災害防止対策(国の制度)について理解する。	財津
11・12	高年齢労働者に係る労働災害防止対策2	現状を踏まえた高年齢労働者への必要な対策について考えてみる。	財津
13～15	疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その1)	疫学の範囲(The Scope of Epidemiology)について理解する。	財津
16～18	疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その2)	因果推論と科学的推論(Causal Inference and Scientific Reasoning)について理解する。	財津
19～21	疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その3)	形式的な因果関係モデル(Formal Causal Models)について理解する。	財津
22～24	疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その4)	発生頻度の測定(Measures of Occurrence)について理解する。	財津
25～27	疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その5)	効果測定と関連性測定(Measures of Effect and Measures of Association)について理解する。	財津
28～30	疫学研究のための研究デザイン、分析、解釈の原則および手法(基礎編その6)	妥当性と効率性を考慮した疫学研究デザイン(Epidemiologic Study Design With Validity and Efficiency Considerations)について理解する。	財津